

## 048 十二使徒の選抜 マタイ、トマス

ルカによる福音書 6 : 12~16、マタイによる福音書 10 : 1~4、マルコによる福音書 3 : 13~19

12 そのころ、イエスは祈るために山 (NIV:a mountainside、NKJV:the mountain)に行き、神に祈って夜を明かされた。

13 朝になると弟子たちを呼び集め、その中から十二人を選んで使徒と名付けられた。

14 それは、イエスがペトロと名付けられた**①シモン**、その兄弟**②アンデレ**、

そして、**③ヤコブ** (=大ヤコブ、ゼベダイの子、ヨハネの兄)、**④ヨハネ** (=大ヤコブの弟、最年少)、

**⑤フィリポ**、**⑥バルトロマイ** (=ナタナエル)、

15 **⑦マタイ** (=レビ、徴税人)、**⑧トマス**、アルファイの子**⑨ヤコブ** (=小ヤコブ、義人ヤコブ)、熱心党 (→ギリシア語「ゼーローテス」(熱心な者)、ローマに対抗して戦ったユダヤ人グループのメンバーに付けられた名称) と呼ばれた**⑩シモン**、

16 ヤコブの子**⑪ユダ** (=タダイ)、それに後に裏切り者となったイスカリオテ (→ユダヤの地域「ケリオテ」の出身) の**⑫ユダ**である。

### 【参考】 マタイ

#### ⑦マタイ Matthaëus

→Mathew「神の賜物」ヘブライ語 アルファイの子、徴税人／小ヤコブと兄弟

マタイ (=アルファイの子レビ→マルコによる福音書 2 : 14、「ヤハウエからの贈り物」という意味がある) は徴税人で、ユダヤ人社会からのけ者にされていた。徴税人は、ローマ帝国から徴税業務を請け負った者で、決まった額を当局に納めなければならなかったが、余った分は自分の収入になった。そのため、徴税人は取り立てられるだけ取り立てようとするため、住民からは嫌われていた。イエスは収税所にいるマタイに「私に従いなさい」と声をかけ、彼は仕事を捨てて従った。

キリストの死後、エルサレムの教団内に留まり、その後エチオピアあるいはトルコのヒエラポリスで殉教したとされる (マタイの殉教には諸説ある)。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 5 / 聖句等の総数 33250 <マタイ>5個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : マタイ]
S マタイによる福音書	9:9 イエスはそこをたち、通りがかりに、マタイという人が収税所に座っているのを見かけて、「わたしに従いなさい」と言われた。彼は立ち上がってイエスに従った。	<u>わたしに従いなさい</u> =わたしの弟子になりなさい
S マタイによる福音書	10:3 フィリポとバルトロマイ、トマスと徴税人のマタイ、アルファイの子ヤコブとタダイ、	
S マルコによる福音書	3:18 アンデレ、フィリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、タダイ、熱心党のシモン、	
S ルカによる福音書	6:15 マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、熱心党と呼ばれたシモン、	
S 使徒言行録	1:13 彼らは都に入ると、泊まっていた家の上の部屋に上がった。それは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。	

【参考】トマス

⑧トマス Thomas

→Thomas「双子」アラム語 あだ名:「ディディモ」、漁師または大工／ガリラヤ出身

思ったことを隠せない正直者で、見たものしか信じられない愚直なところがあった。イエスの復活も信じてことができず、「疑い深きトマス」といわれる。最後の晩餐の席で、イエスが死を予言して父の家に行くといったときは、トマスだけは正直に疑問を呈した。復活したイエスから、「信じない者ではなく、信じる者になりなさい」と言われ、もはや疑うことはできず、イエスの復活を信じた。

トマスはインドまで赴いて宣教し、南インドで、バラモン教徒により槍で突き刺され、殉教したとされているが、史実的な裏づけはない。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 13 / 聖句等の総数 33250 (トマス)13個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: トマス]
S マタイによる福音書	10:3 フィリポとバルトロマイ、トマスと徴税人のマタイ、アルファイの子ヤコブとタダイ、	
S マルコによる福音書	3:18 アンデレ、フィリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、タダイ、熱心党のシモン、	
S ルカによる福音書	6:15 マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、熱心党と呼ばれたシモン、	
S ヨハネによる福音書	11:16 すると、 <u>ディディモと呼ばれるトマス</u> が、仲間の弟子たちに、「わたしたちも行って、一緒に死のうではないか」と言った。 =ディディモ:双子	
S ヨハネによる福音書	14:5 トマスが言った。「主よ、どこへ行かれるのか、わたしたちには分かりません。どうして、その道を知ることができるのでしょうか。」	
S ヨハネによる福音書	20:24 十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。	
S ヨハネによる福音書	20:25 そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」	
S ヨハネによる福音書	20:26 さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。	
S ヨハネによる福音書	20:27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。 <u>信じない者ではなく、信じる者になりなさい。</u> 」	
S ヨハネによる福音書	20:28 トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。	
S ヨハネによる福音書	20:29 イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。 <u>見ないのに信じる人は、幸いです。</u> 」	
S ヨハネによる福音書	21:2 シモン・ペトロ、ディディモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼベダイの子たち、それに、ほかの二人の弟子が一緒にいた。	
S 使徒言行録	1:13 彼らは都に入ると、泊まっていた家の上の部屋に上がった。それは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。	

【参考】何もかも捨てて

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 3 / 聖句等の総数 33250 <何もかも捨てて>3個] 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 何もかも捨てて]
S マタイによる福音書	19:27 すると、ペトロがイエスに言った。「このとおり、わたしたちは何もかも捨ててあなたに従って参りました。では、わたしたちは何をいただけるのでしょうか。」
S マルコによる福音書	10:28 ペトロがイエスに、「このとおり、わたしたちは何もかも捨ててあなたに従って参りました」と言いました。
S ルカによる福音書	5:28 彼は何もかも捨てて立ち上がり、イエスに従った。